



# 東京医科歯科大学 医師会報

No.9



1999

東京医科歯科大学医師会

東京医科歯科大学医師会  
講演会

“このような治療をしています”

—先端医療の現場—

- (I) あなたの狭心症治療、心筋梗塞治療 第三内科医局長 角田恒和  
(II) 形成外科・最近の進歩 形成外科教授 秦維郎

- 日時 平成11年6月12日(土) 午後1時から2時30分  
■場所 東京医科歯科大学医学部附属病院  
B棟5階 症例検討室  
〒113-8519 東京都文京区湯島1-5-45 TEL 03-5803-5270  
■会場費 無料  
■主催 東京医科歯科大学医師会  
■後援 東京都医師会／小石川医師会／文京区医師会

●東京医科歯科大学医師会事務局

東京医科歯科大学医学部胸部外科医局  
〒113-8519 東京都文京区湯島1-5-45 TEL 03-5803-5270 FAX 03-5803-0141



# あなたの狭心症治療、心筋梗塞治療

角田 恒和

東京医科歯科大学第三内科医局長

高齢化社会への移行、食生活の欧米化、および医療情報の浸透とともに、狭心症、心筋梗塞は皆さんの身の回りの身近な疾患となって来ています。どのような症状がこれら虚血性心疾患と呼ばれる病気を疑わせるか、さらにどのように診断するかを始め、いざ診断されたとき、治療法として皆さんがどのような方法を選べるかをそれぞれの手段についてその特徴とともに実際の治療経過を例に挙げ概説します。

# 形成外科・最近の進歩

秦 維 郎

東京医科歯科大学形成外科教授

平成11年4月より、東京医科歯科大学に、大学院大学の設置とともに形成外科学講座が誕生しました。

形成外科は、教科書的には“先天性あるいは後天性の身体外表の醜状と機能障害を外科手技、その他をもって形態解剖学的に正常に、あるいは美しくし、個人を社会に適合させる外科学の1分野である”と定義されています。しかし形成外科という用語は、現在幅広く普及はしているものの、形成外科がどういうものであるかを正しく理解している人は医療関係者の間でも少ないように感じられます。そこで、今回“形成外科、最近の進歩”と題し、形成外科について講演させていただきます。前半部分では、形成外科の歴史と概念について、後半部分では、実際的な臨床症例について解説します。また臨床例では、最近、行われている治療法にもスポットを当て、時折ビデオ録画を交えながら紹介したいと思います。

## 東京医科歯科大学医師会報 第9号

---

1999年5月31日発行 ©

●発行 東京医科歯科大学医師会〔会長：砂盛 誠〕

事務局 東京医科歯科大学医学部胸部外科医局内  
〒113-8519 東京都文京区湯島1-5-45

---